

# 定例教育委員会会議録

(令和2年7月10日開催)

岡谷市教育委員会

# 定例教育委員会

日 時 令和2年7月10日(金)  
午後1時30分  
場 所 長地公民館 2階 講堂  
署名委員 小平委員、草間職務代理者

## 【次 第】

### ○ 視 察

- ・岡谷東部中学校

### ○ 開 会

### ○ 教育長報告

### ○ 議 題

1. 防災対策と今後の教育関連施設の避難所運営等について【資料No.1】 (教育総務課)
2. 岡谷市スポーツ施設条例施行規則の一部改正について【資料No.2】 (スポーツ振興課)

### ○ 報 告

1. 新型コロナウイルスの対応について【別添 新型コロナ関連資料】 (各課)
2. GIGAスクール構想について【資料No.3】 (教育総務課)
3. 岡谷東部中学校管理教室棟長寿命化大規模改修工事について【資料No.4】 (教育総務課)

### ○ そ の 他

- ・行事等について (各課)
- ・その他

【次回開催予定】 8月7日(金) 定例教育委員会 9時30分～ 6階 603会議室

## 出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 太田 博久、教育委員 高木 千奈美、  
教育委員 藤森 一俊、教育委員 小平 陽子

## 事務局（説明員）

教育部長 城田 守、教育総務課長 両角 秀孝、教育総務課主任指導主事 竹内 良之、  
生涯学習課長 山田 勝由紀、スポーツ振興課長 小河原 義友、総務部危機管理室長 小林 隆志  
スポーツ振興課統括主幹 小口 康生、教育総務課統括主幹 小口 明彦、教育総務課学校教育主幹 横内 哲郎、教育  
総務課主査 芳沢 幸祐

## <会議録>

### ○視 察

岡谷東部中学校を視察

### ○開 会

岩本教育長： 皆さんこんにちは。ご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。今、日本列島はコロナウイルスと自然災害に見舞われておりますけれども、こんな時だからこそ思いやりの心で頑張っていきたいなと思います。そんな中、先週から学校訪問が始まっています。既に3校終わっていますが小学1年生から中学3年生まで全ての学年の授業を見させていただきましたが、どの学年の子どもたちも一所懸命、授業に向かう、落ち着いて学習に立ち向かう、そんな姿がございましたし、それを支える先生方も良い授業をするために準備や工夫があつて良いなと思いました。まさにピンチをチャンスに変えている、そんな様子がうかがえてとても嬉しく思ったところです。この後、7校残っておりますが教育委員の皆さんにも直接ご覧いただいて感想をいただけたらと思います。

それでは7月の定例教育委員会を開催いたします。本日の署名委員は小平委員さんと草間職務代理者さんをお願いいたします。最初に私から教育長報告をさせていただきます。

### ○教育長報告

今日は何点か報告させていただきます。

最初に教育総務課関係でございます。

#### 1. 災害について

皆さんもご承知のとおり、九州では梅雨前線の停滞による大雨により、甚大な被害が発生し、多くの命が失われ、依然として被災された多くの方々が避難を余儀なくされている状況でございます。

また、福岡県の小学校では、学校が冠水したため保護者が迎えに来られなかった一部の児童と先生たちが帰宅できず学校で一夜を過ごす事態がありましたが、幸い児童らに怪我もなく良かったなど安堵しています。

本市では学校施設に避難所を開設する場合、市対策本部（本部長）の指示のもと教育部が開設します。また、雨の状況等により避難所開設前であっても、自主的に市民が学校に避難する場合は想定されることから、市教委及び各学校では、災害に応じた避難所対応を想定し、平時から備える必要があります。

さらに、避難所の開設・運営については、新型コロナウイルス感染症への対応も必要となり、今までの避難所の開設・運営とは大きく対応が異なることとなります。

この点は、本日の協議事項の中で、一定の説明をさせていただき予定でございますのでよろしくお願いいたします。

#### 2. ものづくりロボットプログラミング授業について

新学習指導要領の必修となりましたプログラミング学習ですが、ものづくりのまち岡谷市では先行して、「ものづくりロボットプログラミング学習」を行ってまいりました。今年度も、市内全小学校の4年生を対象に、ロボ学習が始まりました。

6月29日と7月3日には、神明小学校におきまして岡谷工業高校との連携授業を行いました。情報技術科と電気科から8名ずつの生徒さんが来校しまして、子どもたちの授業をサポートしてくれました。授業を受ける子どもたちが、ものづくりやプログラミング学習の楽しさを味わったことはもちろんですが、高校生のみなさんも、

「子どもたちが素直で、教えていて楽しくなりました。」や、「教えるということは減多にできないので、貴重な体験になりました。」と、この授業に関わった、やり甲斐や手応えを口にしていました。

岡谷のよさに触れた子どもたちが、ものづくりや工業技術に興味を持ち、ふるさとに誇りを抱く。そんな学びとなるように、今後も学習活動を進めて参ります。

### 3. アプローチ&スタートカリキュラムについて

令和2年度の新規事業「幼保小接続期連携事業」の一環として、去る6月25日に「アプローチ&スタートカリキュラム推進委員会」の第1回委員会を開催いたしました。本委員会は、校長会、教頭会、園長会の代表、小学校1学年の担任、年長担当の保育士、特別支援教育コーディネーターで構成し、それぞれの園、小学校で取り組んでいる活動内容や方法を精査し、アプローチ&スタートカリキュラムの包括的な統合に向け、検討してまいります。

続いて生涯学習課から2点ご報告をさせていただきます。

### 4. 市立岡谷図書館 ファーストチョイスブックについて

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を延期し、9月開始を目指し準備を始めておりますが、この度、本事業で配布する図書館利用カードに貼付するオリジナルキャラクターシールが完成しました。

この作品は、ここにおいでになっている小平委員さんが描いてくださったもので、対象の3歳児がこの5作品の中から好きなものを1つ選ぶようになっております。

小平委員さんには、キャラクターの作製に際し、多くの願いをしたうえに、何度も何度も希望に叶うよう描き換えてくださったと聴いております。本当にご尽力いただいたことに感謝いたします。

また、繭の天使ということで「まゆゆちゃん」、蚕のコクーンから「コクン」と、命名したいとも話しておりました。良く見ていただきますと、それぞれのキャラクターには、岡谷市のマークが施してあり、細部にわたって素晴らしい作品に仕上げていただきました。

この場をお借りして心よりお礼を申し上げたいと思います。

事業の内容につきましては、8月の定例教育委員会で改めてご説明する予定でありますので、よろしく願いいたします。

### 5. 旧山一林組製糸事務所の窓の木製建具等の修繕工事について

国の登録有形文化財の「旧山一林組製糸事務所」ですが、施設の老朽化により窓枠の修繕が必要となり、昨年度の繰越事業として4月から工事を実施してまいりました。おかげさまで、工事も無事に終わり7月8日にしゅん工検査を行ったところであります。この建物は、大正10年に建築された木造2階建てで、平成17年2月28日に国の登録有形文化財に指定されました。

現在は、シルク岡谷の歴史と文化の継承に役立てるため、ブランド推進室所管の「岡谷絹工房」の活動の場として施設を活用しています。

今回の工事は約700万円をかけて、木製建具の塗装や落下防止部材の設置、シーリングによるガラスの固定など、全部で59箇所の窓枠の修繕工事を行いました。

国の重要文化財ということで、施工にあたっては文化庁と連絡を取り合いながら、建設当時の仕様に復旧するため、請負業者の方々には、大変なご尽力をいただきました。

また、この窓は上下にスライドできる構造ですが、どのような仕組みになっているか不明であったことから、その調査も同時に行うことで当時の貴重な構造を解明するができました。

今回の工事や調査により、建物が長期的な保存に耐えられるようになることから、製糸業の全盛期を象徴する文化財として引き続き積極的に活用し、シルク文化の情報発信や観光、まちの活性化に繋げて参りたいと考えております。また機会がありましたら、窓枠のカラクリを見ていただいて大正期の建築の素晴らしさをご案内できたらと思います。

私からは以上であります。

## ○議 題

### 1. 防災対策と今後の教育関連施設の避難所運営等について (教育総務課)

岩本教育長： 議題1について、まずは防災対策について、岡谷市総務部危機管理室 小林隆志室長さんにおいていただいておりますので室長さんからご説明をお願いいたします。小林室長、よろしく申し上げます。

<総務部危機管理室 小林室長から防災ガイド等について説明。>

岩本教育長： 続きまして、教育関連施設の避難所運営等について、事務局から説明をお願いします。

<事務局から教育関連施設の避難所運営等について説明。>

岩本教育長： 今のそれぞれの説明について、時間の都合もありますので委員さんの皆さんからご質問、ご質問、感想等全部含めて結構ですので、一言ずついただけたらと思います。

小 平 委 員： 防災ガイドが非常に分かりやすく、すごく良くできていると思います。航空写真で地形の理解も深まりますし、QRコードですぐアクセスできて便利だと思います。小中学校への出前教室も是非やってもらいたいと思っていたところで、どう取り組んでいるのかなと思っていましたが、こんなに丁寧にやってくださって十分に対応してくださっているなどと思います。学校の先生方もいざという時には学校の開放等、大変だと思います。ちょっと不安に思ったのが、神明小学校や上の原小学校は地理的に土砂崩れなどの危険性もあり、子どもたちが登校中の場合は学校へ避難というより、学校から避難ということもあり得るのかなと思いますが、子どもを帰宅させることになるのでしょうか。

事 務 局： まさに平成18年の災害の際は、上の原小学校が避難所の位置付けでしたが、被災した施設になってしまいました。その時には最寄の安全な場所、今井保育園や横川保育園や区の集会所など、移動の際の安全が確保されれば逃げていただきますし、平成18年の時は体育館と昇降口に土砂が押し寄せましたので、校舎の安全なところで一旦は落ち着くまで待機するなどの避難が考えられます。

小 平 委 員： わかりました。とりあえず避難する場所は想定されているということですね。

草間職務代理者： 私は平成18年の災害の時は、教育委員になって一年目でしたが、岡谷南部中学校に行きました。湊地区は県道が膝くらいの深さまで水があり、3日間くらい水が引かず体育館も間際まで水が来ていました。湊地区は岡谷南部中学校と湊小学校が避難所になっていますが、湊地区はほかに大規模な避難施設が無いと思いますが、もし、あれ以上の豪雨の場合には、岡谷南部中学校や湊小学校の子どもたちが岡谷田中小学校や岡谷南高校、岡谷東高校へ避難することも想定する必要があるのかなと思います。また、平成18年の災害は学校の開放レベルは、今だと第3次開放に該当しますか。

事 務 局： 武道場、体育館から開放し、最終手段として教室まで開放して、学校が運営できなくなっていたので第3次開放に該当します。小坂区、花岡区の全住民が全てのライフラインが止まっていたので、区の公会所、小中学校に避難していました。

藤 森 委 員： 岡谷市学校施設の避難所開設初動マニュアルは以前からあって、今回は変更点があるということですか。

事 務 局： 学校には危機管理マニュアルがあって、毎年定めています。そこに避難所開設のマニュアルが定められています。各校のマニュアルを確認しますと、非常に書き込んである学校とさっぱりと記載している学校と内容に差があります。記載内容のレベルを合わせましょうということで、班編成はできている学校もあれば、市が作成するマニュアルそのまましっかり書き込んでいる学校もあります。学校の立ち位置、役割はどこまでだということをしっかりと、改めて整理したうえで、必要なところを備えましょうということで、今まで規定はあったのですがもう一回確認をしましょうということで作成いたしました。

藤 森 委 員： 学校というものの役割、機能は子どもたちを教育する教育施設ですが、地域住民としては、いざという時の避難場所となり、非常に重要な機能を持った施設なのだなと実感しました。地域に学校というしっかりとした施設があって、災害時に避難ができるという大事さ、大切さを改めて地域住民の皆さんにもっと啓発していくことも大事なのかなと思いました。コミュニティスクールということで地域住民との関わりも深くなってきているので、コミュニティスクールなどでも、地域の代表の方と学校施設のマニュアルなど情報を共有し、いざとなったら学校はこういう手順で避難所として地域住民の方に開放していきますよというようなことをお示ししていただいて、地域にとっては学校というのは大事な存在なのだとお話を、改めて啓発していただければと思います。

高木委員： 学校というところは避難場所と避難所を兼ねていて、地域の要であるというのを改めて感じました。命を守るためには、とにかく早く、一刻も早く避難するしか最善の方法はないということを考えると、授業があっても地域の方が避難してくる可能性もあり得ることですし、平時から備えるということですけれども、学校によってまだまだ差があるということですが、お一人お一人教職員の方々の名前まで入ったマニュアルが必要なのかなと思います。紙のままだとなかなか実際には動けないと思います。訓練していないことは実際には動けないと思うので、実際に時間を取ることは難しいと思いますが、何か少しでも学校の中を実際に歩いて、紙だけではなくて災害時の行動を確認するなどしていただけたらと思います。

太田委員： 我々教育委員というのは災害時にはどういった形で参画していけばよいのでしょうか。もしなにか、こういう協力をしてくださいというのがあれば教えていただけたらと思います。

草間職務代理者： 私も平成18年の災害の時は、そのことを特に思いました。本部が市役所にあつて、現場が岡谷南部中学校でして、本部の指示でボランティアの方が岡谷南部中学校に派遣されてくるのですが、教育委員としてどう対応したらよいのか分かりませんでした。

事務局： 大規模災害が発生した時には、教育委員会の会議が開催されない事態が想定されます。そういった場合に備えて市は業務継続計画を定めておまして、教育委員会の委員さん方の招集が適わない場合には、教育長が全権を委任される形で教育委員会として決定していかなければならない事項を整理していくということで機能を維持していくこととなります。災害の対応として災害対策本部の指示の下、避難所を開設し、市が避難所の運営をしていくこととなります。先生たちも一緒になって作り上げていくという関係になります。災害時においても教育委員さん方にお集まりいただいて会議ができる状態であれば、教育委員さんとしての活動をお願いすることもありますし、教育委員さん方も被災者となり、会議が召集できないような状態もありますので状況に応じて対応させていただくこととなります。

岩本教育長： 私が副本部長になりますので、場合によっては教育委員さん方をお願いして、学校の様子を見ていただくような依頼もあるかと思います。災害が無いのが一番良いですが、万が一というときには教育委員として動いていただくこともあり得るということだけ、ちょっと頭の中に入れていただけたらと思います。

委員さんから貴重なご意見をいただきました。しっかり備えをして、緊急時にはきちんと対応していきたいと思います

小林室長さん、お忙しいところ、ありがとうございました。

(小林室長退席)

## 2. 岡谷市スポーツ施設条例施行規則の一部改正について (スポーツ振興課)

岩本教育長： それでは議題2について事務局から説明をお願いします。

<事務局から岡谷市スポーツ施設条例施行規則の一部改正について説明。>

岩本教育長： 何かご質問、ご意見ありましたら、よろしくお願いいいたします。

高木委員： 利用者の皆さんそれぞれによって、使用できる期間がみんなそれぞれ違うということですね。

事務局： そうです。5月31日までに購入された114名は6月1日から来年の5月31日までとなります。6月1日から現在までに購入された42名の方は購入された日から1年間ということになります。

藤森委員： もし、この後、新型コロナウイルスの感染の第二波が来たりするなどして、閉鎖した場合には臨機応変に対応していただけるのでしょうか。

事務局： そういった場合には閉鎖して使用できなかった期間の分を延長させていただくような対応となります。

岩本教育長： ほかによろしいでしょうか。それでは教育委員会として承認するというでよろしいでしょうか。

<岡谷市スポーツ施設条例施行規則の一部改正について事務局より説明し、承認される。>

岩本教育長： 本日の議題は以上となりますので、引き続き報告事項に入ります。

## ○報 告

### 1. 新型コロナウイルスの対応について (各課)

岩本教育長： 報告事項1について事務局より説明をお願いします。

<事務局(各課)から新型コロナウイルスの対応について説明。>

岩本教育長： 今、各課から対応等の報告がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。色々な面が緩和されつつある状況ですけれども、緊張感だけは崩さず、丁寧にしっかりと対応していくことだけは大事にしていきたいと思います。またお気付きの点がありましたら、ご意見をお寄せいただけたらと思います。それでは、報告事項2へ移ります。

### 2. GIGAスクール構想について (教育総務課)

岩本教育長： 報告事項2について事務局より説明をお願いします。

<事務局からGIGAスクール構想について説明。>

岩本教育長： ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

草間職務代理者： このアンケートの結果ですが、機器の所有は95%となっていますが、市からの貸与はどの位を見込んでいますか。

事務局： これから実際の運用のマニュアルを作成していきますが、まずここで予算をお認めいただいているのは、およそ450台を想定しています。アンケートの数字的な結果とは別に、まずは経済的な支援が必要なご家庭、就学援助の家庭がどの位あるかということ把握しています。

岩本教育長： 回答率が100%ではないので、95%から若干減るのではないかと想定していますが、予想していた以上に保有率が高かったと思っております。

事務局： 国の調査から、小学生の通信環境の普及、機器の保有率はもう少し低いと想定していましたが、実際には通信できる環境にあることが分かりました。ただ家庭の状況によって通信制限という部分もありますので、学習で利用させていただける環境をどう作っていくのかというのは考えていかなければならないです。

小平委員： シルキーチャンネルの普及率が100%ではないのはなぜですか。家にテレビがあれば岡谷市民全員が観られるのでは。

事務局： シルキーチャンネルはLCVケーブルテレビへの加入が必要となります。BS、CSなどの契約で視聴するとか、従来からのテレビ放送ではなくネットで配信されるものでドラマや映画を楽しむということが当たり前になってきています。LCVではない形でテレビをご利用されているご家庭もあるのかなと思います。

小平委員： 分かりました。LCV離れをしている部分もあるということですね。

岩本教育長： このアンケート結果を生かして進めてまいりたいと思います。

続いて、報告事項3へ移ります。

### 3. 岡谷東部中学校管理教室棟長寿命化大規模改修工事について (教育総務課)

岩本教育長： 報告事項3について事務局より説明をお願いします。

<事務局から岡谷東部中学校管理教室棟長寿命化大規模改修工事について説明。>

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

高木委員： 岡谷東部中学校の校舎周辺の樹木が茂ってきているようですが、この改修工事に合わせて樹木の手入れなどの予定はありますか。

事務局： 改修工事に合わせてということではありませんが、校舎周りの樹木につきましては、伸びすぎている部分は、危険度や状況に応じて随時、剪定や枝払いを行っております。

岩本教育長： よろしいでしょうか。報告事項は以上となります。

次にその他ということで、事務局からお願いします。

## ○その他

- ・行事等について（各課）

<各課より行事予定について説明>

- ・その他

岩本教育長： そのほか教育委員さんの方からなにかあれば、お願いいたします。

高木委員： スポーツ大会については中止するものが多いのですが、日頃の練習などは再開されているのでしょうか。

事務局： 体育館の予約はできますので、練習の再開は始まっています。ただ、まだ新型コロナウイルスへの感染が怖いということで、練習などはまだ自粛している団体もあるようですけれども、学校体育施設の再開に伴いまして、ママさんバレーですとか今まで体育館を利用していた団体につきましてははやっと再開できると、とても喜んでいただいております。大会の前に徐々に練習を始めて、大会に備えている状況です。部活動、社会体育も再開していますので順次再開をしていきながら、秋に大会が開催できれば良いかなと思います。

岩本教育長： 練習不足で怪我をしないように気を付けていただけたらと思います。

ほかに無いようでしたら、事務局より次回の開催予定についてお願いします。

<次回開催日確認>

岩本教育長： それでは以上をもちまして、7月の定例教育委員会を終了とします。

午後4時00分終了

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

令和 2 年 8 月 7 日

教 育 長

岩本博行

署 名 委 員

小平陽子

署 名 委 員

草間吉幸

調 製 職 員

城田 守